



ザ・リアル

～当事者の声を聴く～

ピアボイス

無料

精神科医療に
関心のある方なら
どなたでも
ご参加ください

精神医療保健福祉の現場で「当事者の声を聴く」とは、
ということなのでしょうか。

当事者と支援者が、互いに抱える困難を理解し合い、
「対話」を通して協力し合える関係を築くことを目指して…。
高次脳機能障害の当事者で、ルポライターの鈴木大介さんのお話を伺います。

講演のあとには、参加者の皆さんとの意見交換も行います。

◆実践報告 千葉精神医療人権センターの 取り組みについて

◆基調講演「当事者の声を聴く」

講師 鈴木大介氏

(ルポライター・高次脳機能障害当事者)



鈴木大介氏（文筆業・ルポライター）1973年千葉県生まれ。子どもや女性、若者の貧困問題をテーマにした取材活動をし『最貧困女子』（幻冬舎）、『ヤングス（漫画原作・映画化）』（講談社）、『老人喰い』（ちくま新書・TBS系列にてドラマ化）などを代表作とするルポライターだったが、2015年に脳梗塞を発症して高次脳機能障害当事者になる。その後は高次脳機能障害者としての自身を取材した闘病記『脳が壊れた』『脳は回復する』（いずれも新潮社）や夫婦での障害受容を描いた『されど愛しきお妻様』（講談社）などを出版。2020年、援助職向けに書き下ろした『脳コワさん支援ガイド』（医学書院・シリーズケアをひろく）にて日本医学ジャーナリスト協会賞大賞受賞。
近刊に『ネット右翼になった父』（講談社現代新書・新書大賞2024・5位）『貧困と脳 働かないのではなく働けない』（幻冬舎新書）など。

◆意見交換 皆さんからの

声 を、お寄せください



令和8年9月13日(日) 13:15～16:15
(12:45開場)

【会場】千葉県社会福祉センター2階 研修室C(定員100名)

千葉県千葉市中央区千葉港4-5

最寄駅: JR京葉線「千葉みなと駅」/ 千葉都市モノレール「市役所前駅」

公共交通機関や近隣の有料駐車場をご利用いただくようお願い申し上げます

【オンライン】Zoom(定員100名)お申込後、URLをお送りします

下記のいずれかでお申し込みください

GoogleForms <https://forms.gle/L1BByLbaPTW42v9G9>

人権センターメールアドレス chibaseishinjiniken@gmail.com



お申込みフォーム

共催: 千葉県精神保健福祉士協会 千葉精神医療人権センター(CSJ)

後援 千葉県精神保健福祉協議会・千葉県弁護士会・千葉県社会福祉士会・千葉県公認心理師協会・

千葉県医療ソーシャルワーカー協会・千葉県作業療法士会・日本精神科看護協会千葉県支部